

### Ⅲ その他の活動報告

#### 1. 教職員・学生を対象とした啓発活動及び支援

##### 1-1 LGBT+ガイドライン

###### ガイドライン改訂、リーフレットの作成

ダイバーシティ推進センターでは、令和2年3月に、『LGBT+ Guidelines 長崎大学LGBT等性的マイノリティに関する対応ガイドライン』を発行しました。このガイドラインでは、LGBT等当事者学生に向けた学内の支援制度を整理しています。

その後、学内からより詳しい内容のガイドライン作成を求める声があり、令和3年にLGBT等ワーキンググループを立ち上げ、ガイドラインを見直し、令和4年5月に改訂版を発行しました。主な改訂箇所は、大学が発行する学生向けの書類の性別記載を削除し、通称名使用申請のための要項や手続きをわかりやすく整理しました。さらに、LGBT等について学内の理解をより一層深めていくために、基本的な用語の解説、長崎大学ハラスメント防止ガイドラインの説明、ダイバーシティの視点からの表現ガイドを新たに掲載しました。

改訂版の冊子は、ダイバーシティ推進センターのホームページに日本語版と英語版を掲載しています。また、冊子の内容を簡単にまとめた3つ折りリーフレットは、新入生オリエンテーションで配布しました。こちらも日本語版・英語版、ともにホームページに掲載してあります。



ガイドライン簡易版リーフレット

## 1-2 啓発ポスター

「くん」「さん」の性別の呼び分けは、呼ばれた本人の意図しない形で性別情報を不当にもらすことになってしまったり、トランスジェンダーの当事者にとっては、性別による呼び分けは日常的な生きづらさにもつながっています。そこで、このポスターを通して、性別による不必要な呼び分けをなくすことの周知・徹底をはかり、ダイバーシティに配慮した環境の実現をめざします。

ポスターは令和3年度に作成、学内各署に配布・掲示を依頼し、学内全体の意識改革につなげます。



### 1-3 長崎大学学生への生理用ナプキンの無料提供

令和4年4月より、長崎大学が考えるSDGsに基づく『生理用ナプキンの無料提供』の展開の一環として、生理用品が生活必需品であることを生理のある人もない人も共に理解することで、生きやすい世の中になり、SDGsのスローガンである「誰も置き去りにしない (leave no one behind)」につながると考え、本センターで取組を開始しました(①)。令和5年10月より、オイテル株式会社によるOiTr機器を文教キャンパスの11か所のトイレに設置導入しました(②)。また、学生からの要望に基づき、令和6年7月より、坂本キャンパスの12か所のトイレにも設置しました。生理に伴うさまざまな負担の軽減、経済格差を解消し、生理用品を必要とする学生が安心して通うことができるキャンパスづくりに取り組んでいます。

#### 【取組の目的】

- SDGs及びプラネタリーヘルス理念に基づく全学的・組織的な取組として拡充・推進することができる
- 安心して通えるキャンパスづくりへの貢献
- 経済的に困難があり、生理用品を必要とする学生の福利厚生への向上
- 学生に対する健康管理教育の促進



①令和4年ボックス設置



②令和5年10月(文教キャンパス) OiTr機器設置



## 2. 教職員の交流

### 2-1 ウェルカムカフェ

第1回

【日時】令和6年4月26日（金）12:00-13:00

【場所】オンライン

第2回

【日時】令和6年5月14日（火）18:00-19:00

【場所】坂本キャンパス（レジデンスー精得館パブリックスペース）

第3回

【日時】令和6年5月22日（水）18:00-19:30

【場所】文教キャンパス（ダイバーシティ推進センター）

令和5年度秋以降に長崎大学に着任された新任教職員の方々が、在任教職員のみなさんと自由にお話ししながら、地域や大学のことで分からないこと、心配なこと、仕事と生活の両立のこと等の不安を解消していただく場です。また、部局を越えてコミュニケーションの輪を広げることを目指しました。このカフェは、メンター・メンティーと位置づけるより、「終わって見たらこれがメンタリングだった」と思えるような集まりを目指し、先輩方と新任教職員の気軽な集まりを企図しています。また今回企画したウェルカムカフェのようなカフェによるメンター制度につながる場の提供は、平成27年度からの取組です。

実施にあたっては、ダイバーシティ未来構想委員会で話し合い、企画や当日の運営をしました。今年度は、すこしでも多くの皆さんが参加できるよう、オンライン開催、文教キャンパスと坂本キャンパスでの対面開催を実施しました。また、研究開発推進機構のURAの皆様にもご協力いただき、学術支援室での支援内容を情報提供していただきました。参加者は以下の通りです。

	第1回	第2回	第3回
新任教員／職員	2名／0名	0名／4名	3名／2名
在任教員／職員	0名／0名	3名／2名	2名／0名
未来構想委員	8名	3名	6名
合計	10名	10名	13名

3回とも、今年度から未来構想委員長に着任された作田先生の司会進行により会を進めました。開会の言葉では門脇センター長から皆さんを歓迎するご挨拶がありました。オンライン開催と文教キャンパスではグループに分かれて、坂本キャンパスでは全員で和やかに交流を楽しみました。皆さんからは、女性研究者が中心となった共同研究を応援する取り組みがあったらいいという要望や、県外から来られた新任教職員に長崎のおすすめの場所などを紹介したり、お互いの趣味を紹介したり、在任者どうしも行きつけのお店を紹介したりなど、職種や部署や年齢も関係なく交流し、和気あいあいとした雰囲気でした。

終了後は、お互いの連絡先を交換するなどし、今後も気軽に相談し合うきっかけづくりの場となりました。

今後は、教員にとっても、また職員にとっても参加しやすい会になるように、色々な工夫を考えていきたいと思っております。



### 3. その他の活動

#### 3-1 共催セミナー等

- 2024.9.18 (対面)「企業経営におけるジェンダー平等視点を強化するセミナー」ながさき女性活躍推進会議
- 2024.12.6 (対面・WEB)「真のインクルーシブな職場を目指して～現在の「障害者雇用」を多角的に考える」障がい学生支援室

#### 3-2 論文、学会発表等

(書籍)

- 矢内琴江「3. 自己解放と社会変革への学習」「4. 社会教育実践と複合的・重層的なマイノリティ」、日本社会教育学会編『現代社会教育事典』、東洋館出版社、2024年9月
- 矢内琴江『性差別を克服する実践のコミュニティカナダ・ケベック州のフェミニズムに学ぶ』、明石書店、2024年。

(論文他)

- 矢内琴江「無料で学べるミュージアム⑨長崎大学熱帯医学ミュージアム風に立つライオンが向かっているもの」、『月刊社会教育』、68 (10)、72-75、2024年10月。
- 矢内琴江「(書評) マリア・ノリエガ・ラクウォル著『キッチンからカーネギー・ホールへーエセル・スタークとモントリオール交響楽団』」、『ケベック研究』、(16)、60-56、2024年9月。
- 矢内琴江「(図書紹介) ミシュリンヌ・デュモン著、矢内琴江訳『ケベックのフェミニズムー若者たちに語り伝える物語』」、『社会教育職員研究』、(31)、45-46、2024年5月

(学会発表等)

- 赤池典子, 阿比留久美, 飯島絵里, 池谷美衣子, 大村隆史, 小河洋子, 亀口まか, 島本優子, 徐真真, 辻智子, 富永貴公, 中尾友香, 野依智子, 廣森直子, 村瀬桃子, 堀川修平, 矢内琴江「今、「ジェンダーと社会教育を考えると」は：プロジェクト研究開始にあたって」、2024年度日本社会教育学会六月集会、2024年6月2日
- 矢内琴江「インターセクショナル・フェミニズムと解放への学習」、日本社会教育学会第71回研究大会プロジェクト研究「男女平等・ジェンダー公正をめぐる課題と社会教育の可能性」、2024年9月8日
- 矢内琴江「フェミニスト・クリスチャン団体とライシテ」、日本ケベック学会2024年度全国大会「ケベックにおけるライシテの課題」、2024年10月4日

- 矢内琴江「アートにおける女性たち」、第15回日韓学術交流研究大会 社会的学習空間と生涯学習、韓国平生教育学会・日本社会教育学会、2024年10月26日

### 3-3 講演等

- 2025.3.8 (対面) 矢内琴江：「身近なジェンダーについて学ぶ」、令和6年度女性のためのエンパワーメントセミナー、佐賀県立男女共同参画センター（アバンセ）（於：佐賀県立男女共同参画センター アバンセ）
- 2025.2.15 (対面) 矢内琴江：「コーヒーと一緒に「わたしらしさ」を考える」、令和6年度女性のためのエンパワーメントセミナー、佐賀県立男女共同参画センター（アバンセ）（於：佐賀県立男女共同参画センター アバンセ）
- 2024.11.19 (対面) 矢内琴江：「プラネタリーヘルスとダイバーシティ誰もがここで輝くために」、第8回日本ヘルスケアダイバーシティ学会「デジタルより人をつなぎダイバーシティへ～ヘルスケアにおける新たな働き方の創造」一般社団法人日本ヘルスケアダイバーシティ学会（於：J:COM ホルトホール大分）
- 2024.11.16 (WEB) 矢内琴江：「ジェンダー平等を自分事とするために」、福井県労連女性部学習会
- 2024.11.6 (対面) 矢内琴江：「人権とアンコンシャス・バイアス～ジェンダーの視点から」、令和6年度長崎人権擁護委員会男女共同参画部会・こどもの人権部会研修会、長崎人権擁護委員協議会（於：長崎県法務局）
- 2024.10.11 (対面) 矢内琴江：「「当たり前」は「当たり前」じゃない！～「ジェンダー」のとびらを開くと見える世界」令和6年度長崎県高等学校家庭クラブ連盟 第71回研究発表大会（於：長崎市市民会館）
- 2024.6.29 (対面) 矢内琴江：「ジェンダー平等の実現に向けた取り組み」長崎市男女共同参画推進センター「ジェンダー平等を考える連続講座～ジェンダー平等とアンコンシャスバイアス」（於：長崎市男女共同参画推進センターアマランス）

### 3-4 講義等

- 2024.6.11-2024.8.7 開校日：第2クォーター 水曜日5、6限目  
 教養教育講義 自由選択科目「ボランティアを通して地域を知る」  
 担当：井口茂（生命医科学域（保））、本多直子（生命医科学域（保））、矢野香（キャリアセンター）  
 年次：1、2、3、4年次

回	内容	担当
第1回	ボランティア活動について	井口 茂
第2回	フィールドワークに向けたオリエンテーションとグループワーク	井口 茂
第3回	傾聴について【第1回ケアラーサポーター育成研修】	井口 茂
第4回	講師：岡島つよし氏（こころ～え）	
第5回	ボランティアのためのコミュニケーションの取り方を学ぶ①	矢野 香
第6回	ボランティアのためのコミュニケーションの取り方を学ぶ②	
第7回	認知症サポーター養成講座【第2回ケアラーサポーター育成研修】 講師：中田憲太氏（長崎市西浦上・三川地域包括支援センター）	井口 茂
第8回	認知症高齢者に対する支援：グループワーク	井口 茂
第9回	フィールドワーク	井口 茂
第10回		
第11回	こどもの心と身体の発育・発達①	本多 直子
第12回	こどもの心と身体の発育・発達②	本多 直子
第13回	フィールドワークのまとめ、プレゼンテーション①	井口 茂
第14回	フィールドワークのまとめ、プレゼンテーション②	井口 茂
第15回	高齢者に対する支援とボランティア	井口 茂

- 2024.4.1 - 2024.6.10 開校日：第1クォーター 水曜日5、6限目  
 教養教育講義 自由選択科目「ダイバーシティ社会における課題とその解決」  
 担当：井口茂（生命医科学域（保））、門脇知子（ダイバーシティ推進センター）、矢内琴江（ダイバーシティ推進センター）  
 年次：1、2、3、4年次

回	内容	担当
第1回	オリエンテーション：ダイバーシティ社会と私	矢内琴江
第2回	アンコンシャスバイアス	矢内琴江
第3回	アンコンシャスバイアス	矢内琴江
第4回	女性活躍推進とライフイベント	門脇知子
第5回	女性活躍推進とライフイベント	門脇知子
第6回	介護をしながら働くこと	井口茂
第7回	介護をしながら働くこと	井口茂
第8回	ジェンダー・セクシュアリティを考える	矢内琴江
第9回	ジェンダー・セクシュアリティを考える	矢内琴江
第10回	文化の多様性を考える	矢内琴江
第11回	文化の多様性を考える	矢内琴江
第12回	私なりの生き方・働き方を考える	矢内琴江
第13回	私なりの生き方・働き方を考える	矢内琴江
第14回	クロスセッション（小グループの中での課題のプレゼンとディスカッション）	矢内琴江
第15回	ふりかえり	矢内琴江

- 2024.6.11 - 2024.8.7 開校日：第2クォーター 水曜日5、6限目  
 教養教育講義 生命・自然科学科目「安全で快適な環境」  
 担当：安武敦子（総合生産科学域（工））、源城かほり（総合生産科学域（工））、矢内琴江（ダイバーシティ推進センター）、山口浩平（総合生産科学域（工））、中原浩之（総合生産科学域（工））  
 年次：1、2、3、4年次

回	内容	担当
第5回	(1) ジェンダー平等の視点からの避難所運営・復興支援	矢内琴江
第6回	(2) ジェンダー平等の視点からの避難所運営・復興支援	矢内琴江

### 3-5 委員会委員等

（門脇知子）

長崎市男女共同参画審議会 委員  
 長崎県男女共同参画審議会 委員  
 ながさき女性活躍推進会議 企画委員

（矢内琴江）

日本社会教育士会 常務理事  
 全国社会教育職員養成研究連絡協議会 理事・事務局次長  
 日本社会教育学会70周年記念事業国際シンポジウム部会 委員  
 雲仙市男女共同参画審議会 会長  
 ながさき女性活躍推進会議ワーキンググループ 委員  
 長崎市総合計画審議会 委員  
 長崎県総合計画・総合戦略懇話会 委員

### 3-6 報道・メディア掲載等

#### テレビ取材

- NHK長崎放送局 2025.3.6放映 2025.3.6「JSTダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）最終報告会」

#### 新聞掲載

- 長崎新聞 2024.4.4 「あなた」と考える国際女性デー 仕事終えても家の”仕事”
- 長崎新聞 2024.5.29 大村市の同性住民票交付
- 長崎新聞 2024.7.18 「性差別の克服目指し」カナダのフェミニズム 実践例を分析
- 北海道新聞 2024.8.20 「大学教員「女性枠」拡大の動き」
- 長崎新聞 2024.11.14 「市まちづくり検討委に女性ゼロの「はて？」」
- 長崎新聞 2024.12.18 水産業界の課題「働き方」考える  
12/15開催ダイバーシティ推進センター市民公開講座（日本水産学会九州支部例会）「海洋分野における働き方の未来」
- 長崎新聞 2024.12.24 第8回「長崎大学未来に羽ばたく女性研究者賞」授与式および受賞者研究発表会
- 長崎新聞 2025.1.22 トランプ大統領2期目就任「多様性減退」
- 長崎新聞 2025.3.7 JSTダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）最終報告会
- 長崎新聞 2025.3.8 ながさき女性活躍推進会議10年